

■ 前回のおさらい

ワンヘルスとは、人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守ろうとする取組。
ここでは、福岡県が策定したワンヘルス推進行動計画の「7つの柱」をご紹介します。

柱4 人と動物の共生社会づくり

人は、猫や犬などの愛玩動物を飼養することで、散歩や日常の世話により生活に潤いや安らぎを得るとともに、愛玩動物を通じコミュニケーションが増加するなど、身体的、精神的、社会的な健康の増進につながるとされています。また、能力や習性を生かし、アニマルセラピー等で人の社会生活の様々な分野に活用されている動物もいます。一方で、安易な飼養や遺棄、虐待、不適切な飼養等による近隣住民とのトラブルが社会問題となっています。また、飼養動物との過度なふれあいや不適切な管理などにより、愛玩動物を介して共通感染症に感染する事例も発生しています。

さらに、山林の手入れ不足や農地の放棄・荒廃といった土地利用の変化などにより、シカやイノシシ等の野生動物の生息域が拡大し、鳥獣被害が発生しています。

福岡県では、①様々な分野での愛玩動物の活用やより良い関係づくり ②災害発生時の救助犬活用や愛玩動物の避難・救護体制の整備 ③野生動物との適正な棲み分けにより共存を図ることで、人と動物の共生社会づくりを推進していきます。

★主な施策

- ・動物愛護と適正飼養等の普及啓発
- ・鳥獣被害の防止、対策
- ・地域猫活動の推進
- ・ジビエの消費拡大
- ・野生動物との棲み分けを図る里山林の整備

柱5 健康づくり

自然とのふれあいは、自然に対する価値観や保全意識に寄与するとともに、身体・精神・社会的な健康維持（例えば、うつ抑制、ストレスの低減など）に効果があると言われています。自然とのふれあい活動を推進するとともに、自然とのふれあいの場として、自然公園等を整備します。

また、愛玩動物とのふれあいは、人の心に安らぎを与え、心身の健康に効果があるといわれています。医療や福祉、教育等様々な分野において、愛玩動物とのふれあいを通じた健康づくりを推進していきます。

★主な施策

- ・豊かな自然環境を体感できる自然公園、森林公園、都市公園づくり
- ・自然公園等におけるふれあい活動の推進
- ・アニマルセラピーによる健康づくり
- ・森林セラピー基地の利用促進
- ・都市公園におけるドッグラン等の整備
- ・ワンヘルスの森づくり